

# 早良区少年愛護パトロール員だより

～安全・安心の地域づくりに向けて、パトロールと声かけをお願いします～

令和元年6月11日/編集・発行 地域支援課



## 令和元年度 少年愛護パトロール員 委嘱式・研修会

### 1. 開会

6月5日(水)、早良市民センターにて「令和元年度早良区少年愛護パトロール員委嘱式・研修会」が開催されました。冒頭に、藤井ひろ子地域支援課長よりあいさつがあり、パトロール員をはじめ地域での見守り活動が、安心・安全のまちづくりに繋がっていること、報告は重要な情報源となるので提出された報告書は、地域支援課で全て目を通し、必要に応じて迅速に対応することなどのお話がありました。

### 2. 委嘱状交付

パトロール員を代表して、百道浜校区の佐々木望美様に委嘱状が交付されました。



### 3. 研修(役割・業務説明)

- ・パトロールに関するDVD視聴「ホットスポット」について
- ・少年愛護パトロールの職務について
- ・パトロールで留意すること
- ・報告書の提出について など

#### ◆DVD 視聴および役割・業務説明を受けての主な感想

- ・近年、非常に多くの犯罪に子どもたちが巻き込まれているので、地域の大人たちで守っていかねばと思いました。
- ・小学校のPTAで取り組んでいる内容と変わらなかったため、安心しました。誰でもできることだと思うので広く呼び掛けたいです。
- ・委嘱式等があったので責任を感じるのと同時に、見守っていただける方がたくさんいると思うと安心感もあった。
- ・DVDのなかで「人はうそをつくが、景色はうそをつかない」という言葉が印象的でした。校区のボランティアの方々のサポートのありがたさが認識できました。

#### 4. 講話 「子どもたちからのSOS」～より良い親子関係を築くために～

【講師】C&S 音楽学院 学院長 毛利直之 先生

“表現すること”は、自分の中にある感情を形にする行為であり、それは心の開放を伴い、そのまま自己肯定につながる。を念頭に置き、生徒ひとり一人の自尊感情を高めることこそが最も優先されるべき教育の目的であるという考えのもと、多くの子どもたちの持つ可能性の扉を開いていらっしゃる先生です。

##### 【内容】

はじめに、C&S 音楽学院の卒業生で、現在様々な領域で活躍している人たちの映像とともに学院の教育内容の説明をしていただきました。そして、私たちが子どもに願うこととして、どうすれば子どもたちは自立し、自分の力で幸福な人生を歩めるようになるかについてお話になりました。また、今まで音楽学院で出会った個性あふれる生徒たちやその保護者とのエピソードの中から、子どもたちとの接し方や対応の方法で、子どもとの関係が良くも悪くもなっていくという経験を踏まえたお話をしていただきました。そして、子どもの心の奥に手が届くためのエクササイズとして、具体的な手法をいくつか例示していただきました。

最後に映像を通して「もう一度感謝するところから始めてみよう」という、子育てや教育の原点を立ち戻ることが大切なのではと結ばれました。

大変有意義な研修会になったのではと感じました。



##### ◆講話の主な感想

・とても楽しく心に響くお話で勉強になりました。子供と接する時間があまりなく、休みの日もテレビ等を見ている時間が長いので、会話を増やし表情を見て、理解してあげたいなあと感じました。

・大変参考になりました。感情に対して感情で応えない。オウム返しで応える。なるほどです。親子の会話を夫婦の会話に例えられたことで、嫁に対する接し方を学べたような気がします。

・それぞれの子どもには咲く時期があるとお話を聞き、家庭でも焦らず子どもと仲良く進んでいこうと思います。パトロール中の子どもたちへの声かけも、我が子に声をかけるように心がけていこうと思います。

・大変すばらしかったです。感動しました。子供の将来を考え、塾や勉強を第一にと子供に言い続け、よその家庭の成績の良い子と比べ、毎日子どもにストレスを与え続けていることに気がつきました。友達の中に、不登校気味のお子様もいるので、お母様方と今回の話を共有したいと思います。ぜひ、中学校の講演会にいらしていただきたい。

- ・涙が止まりませんでした。まさかパトロールの講演会で、泣くことになるなんて思ってもみませんでした。今後の子育てに生かしたいと思います。ありがとうございました。
- ・我が家のやり取りを見られていたのかしらと思う会話風景・・・，子どもの話を聞く方法を変えてみたいと思いました。オウム返しから始めてみます。
- ・子育てを振り返るととても良い機会になりました。自分の都合ばかり考えて子育てしていたように思います。もっと子供の気持ちに寄り添っていきたいです。
- ・今日子どもが「ただいま」と帰ってきたら、「おかえり」とありきたりの言葉だけど深い言葉と実感しながら伝えたいです。
- ・毛利先生のお話，子育て中の私にとって，心にぐっと来るお話ばかりでとてもためになりました。わが子への接し方，今日から変わると思います。
- ・毛利先生のお話は2回目ですが，笑いあり，涙ありで楽しませていただきました。子どもたちだけでなく，お母さんたちに「大丈夫だよ」って言ってあげようと思います。

## 5 研修会全体の主な感想について

- ・研修会に参加してすごく勉強になりました。
- ・2回目の研修会，どこに見学に行くかとても楽しみです。
- ・抽象的な表現ですが，とても「心を動かされる」講話でした。毛利先生ありがとうございました。
- ・もうりせんせいに，もっといろいろなところでも話をしてほしい。
- ・研修などの時間帯を子供が学校に行っている間の時間に設定していただくと参加しやすいです。
- ・研修会の日程は，1ヶ月以上前に決めていただかないと勤務の都合がつかない。よろしくお願いします。
- ・不登校の子供のことでよく言われるのが，「休んでいいよ」「学校行かなくていいよ」とありますが，中学入試，高校入試になると，出席日数が足りないからと志望校に受け入れられないということが矛盾していますよね。

**少年愛護パトロール員のみなさま，一年間よろしく願いいたします。**